



林試の森で見つけました



令和7年10月1日

目黒区立目黒本町保育園園長

日差しは強く暑い日は続いていますが、時折吹く風は爽やかで秋を感じます。今年の夏は玄関前セミの抜け殻マンションをはじめ、カブト虫やアゲハチョウのコーナーを作りました。登降園の時、「アゲハチョウの幼虫はみかんの葉っぱ食べるんだよ」「抜け殻マンションまだ空き室あるな、今度探してこよう（抜け殻）」など子どもたちと保護者の方が毎日飼育箱を覗き、虫たちの変化に一喜一憂する様子がほほえましいです。小さなコーナーが親子のほっとステーションになっていることに嬉しく思います。先日一羽のアゲハチョウが羽化しました。飼育箱の狭い中で羽ばたかせている様子を見て「かわいそうだから逃がそうよ」と一人の子が言うと「嫌だよ、触っていたい」と相手の子が返していました。どちらの言い分も本当の気持ち、お互いの気持ちがわかるようで二人でしばらく眺め「みんなで逃がしてくる」と大事そうに飼育箱を抱えてクラスに帰って行きました。会話はなくても心を動かし気持ちを察し合っていたようです。自分以外の友達の生き物の気持ちを想像したり、思いやったりする姿に心が豊かに成長していることを感じます。

今月は運動会です。幼児クラスの練習も大詰めになり友達と一緒に体を動かす楽しさや息を合わせて動く連帯感を少しずつ感じているようです。各クラスが日頃から取り組んできた運動遊びを保護者の方の暖かい眼差しを励みに一人ひとりが持てる力を発揮します。子どもたちの輝く姿を是非ごらんください。

行事予定

運動会	2～5 歳児 0、1 歳児自由参加
芋ほり遠足	4、5 歳児
幼児お楽しみ会	
中旬	身体計測 避難訓練



万国旗づくり

災害が起きたら、どうするの

～避難訓練～



園では年間を通して地震や火事、風水害を想定した避難訓練を子どもたちと一緒にを行っています。風水害の訓練では、浸水に備え社教館の3階に避難しました。後日、雨がたくさん降ると「3階に逃げるの」と訓練を思い出し、保育士に聞いたり「窓は危ないね」と部屋の中央で遊んだりする子どもの姿がありました。先月は引き渡し訓練が行われ、園の備蓄品の話と映像も用いて大地震がきたらどうすれば良いかという話をしました。興味をもって話を聞き、「ミルクもあるから、赤ちゃんもお腹減らないね」「地震が来たら一人は怖いね」と、考えて話していました。「火事になったら地震がきたら、先生の所にすぐに集まる」と訓練を通して色々な経験をする中で、災害時にも大切な自分を守る子どもたちに育って欲しいと思います。

「運動の秋」

屋外、室内でも体をたくさん使って遊んでいます。

穴に落ちないように、ぐらぐらの揺れや落ちそうなスリルも楽しんでいます



身をひるがえし、走っていても捕まらない機敏な動きの氷鬼。タイヤの障害物で、ゲームも盛り上がります

縄跳びをへびにして、一緒に追いかけて。走るのも上手になりました



憧れの天狗下駄。手と足を一緒に動かす協応動作でバランスをとって一歩一歩進みます



出たり入ったりが大好きです。身体を支え、高さに合わせて片足を持ち上げ乗り越えます



足指にも力を入れてみてみて先生、登れたよ！



力加減や方向を調整し、全身を使って倒れないように押しています



簡単なルールもわかるようになり、友達と一緒にゲームを楽しみます。好きなフープに入れないと悔し泣き。でも楽しいからもう一回！